

米国 小売売上は過熱感のないペースで拡大持続 (06年8月小売売上高)

発表日：06年9月14日(木)

～7～9月期の実質個人消費は前期より小幅加速～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	小売・飲食サービス売上高			耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)		
		除く車		自動車	家具	家電	衣料品	ガソリン		
05/08	▲1.5	(+8.2)	+1.2	▲6.5	▲10.5	+1.6	+0.5	+1.4	+1.1	+4.9
05/09	+0.4	(+6.6)	+1.4	▲1.6	▲3.4	+1.8	+0.9	+1.5	▲0.3	+6.4
05/10	+0.3	(+6.2)	+0.7	▲0.6	▲1.6	▲1.2	+0.7	+0.7	+2.8	▲1.1
05/11	+0.6	(+6.7)	▲0.4	+3.3	+4.7	+0.5	+0.2	▲1.0	▲0.1	▲6.2
05/12	+0.4	(+5.8)	+0.2	+0.6	+1.4	▲0.7	▲1.2	+0.3	▲0.2	▲0.0
06/01	+3.0	(+9.4)	+2.7	+5.2	+4.1	+6.6	+7.1	+1.7	+2.6	+4.5
06/02	▲0.8	(+7.4)	▲0.2	▲2.4	▲3.1	▲2.6	▲3.5	+0.3	▲1.1	▲1.3
06/03	+0.7	(+8.0)	+0.6	+1.2	+1.3	+0.4	▲0.1	+0.3	+0.5	+0.4
06/04	+0.7	(+7.0)	+0.7	▲0.3	+0.4	+0.6	+0.3	+1.4	+0.5	+5.7
06/05	+0.2	(+7.6)	+0.8	▲1.2	▲2.1	+0.5	+0.8	+1.1	+0.7	+2.0
06/06	▲0.5	(+5.3)	▲0.0	▲1.8	▲2.4	+0.9	▲0.5	+0.2	+0.5	+0.1
06/07	+1.4	(+4.8)	+0.6	+2.7	+4.3	▲0.0	+0.7	+0.7	+0.9	+1.6
06/08	+0.2	(+6.7)	+0.2	+0.3	+0.4	▲0.3	+0.1	+0.2	▲0.3	▲1.0

(出所) 商務省 (Department of Commerce)

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

*1: 耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上の合計。

*2: 非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

自動車を除く小売売上高は前月比+0.2%と市場予想を下回った

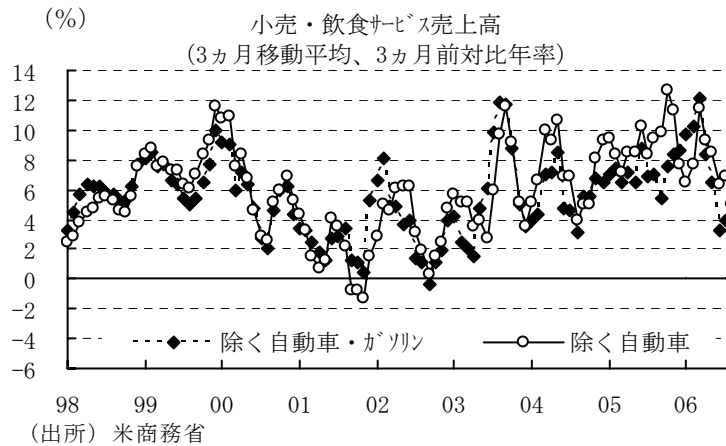
06年8月の小売・飲食サービス売上高は、前月比+0.2% (前月同+1.4%) と市場予想の同▲0.2%に反し上昇した (6、7月合計で0.1%ポイント下方改定)。予想に反し自動車販売が増加した。しかし、中古自動車の販売が増加した可能性があるものの、新車販売台数ベースが減少していることから、自動車販売は今後下方改定される可能性がある。項目別にみると、耐久財では自動車、家電の伸びが鈍化したうえ、家具の減少ペースが加速した。さらに、非耐久財売上では価格が下落したガソリン販売、7月の反動がでた衣料品販売が減少するなど、全体的に伸びが鈍化した。

変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、前月比+0.2%と前月の同+0.6%から鈍化した。6、7月合計で0.5%ポイント下方改定されたうえに、市場予想である同+0.3%を下回っており予想対比かなり弱い内容といえよう。また、全体からガソリンを除いた小売・飲食サービス売上高は前月比+0.4% (同+1.3%) と減速した。

小売売上高は過熱感のない拡大ペース

月次では変動が大きくトレンドを掴み難いため、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でみると、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は+5.0% (前月+6.9%) と鈍化したもののガソリン販売の増加によって高い伸びを維持した。また、自動車・ガソリン販売を除く小売・飲食サービス売上高は8月に+3.3% (同+4.0%) と

小幅鈍化したが、最近3ヵ月過熱感のない拡大ペースを維持している。

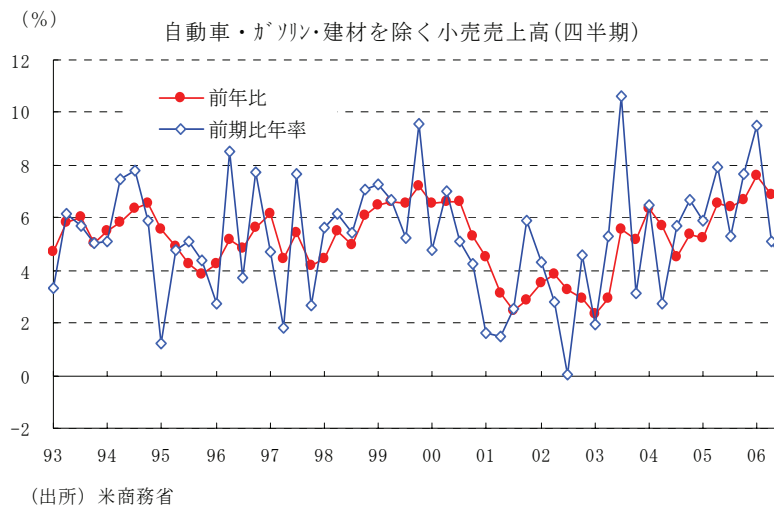


7～9月期の個人消費は前期比年率+3.3%が予想される

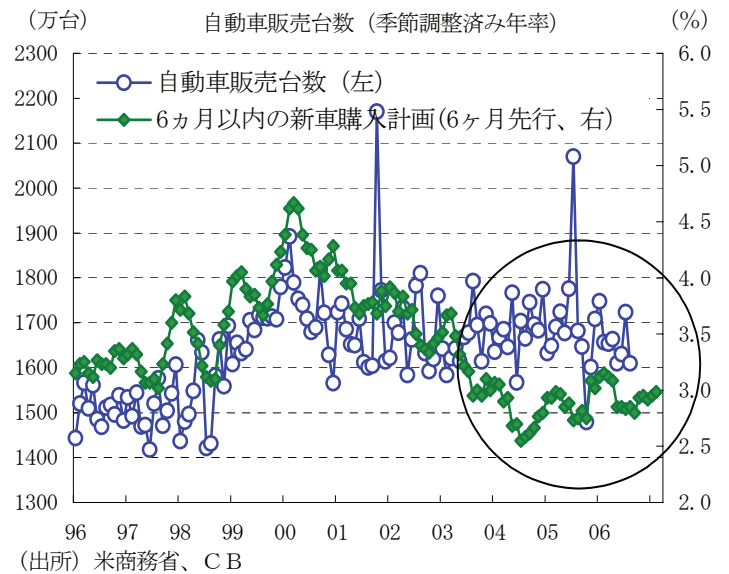
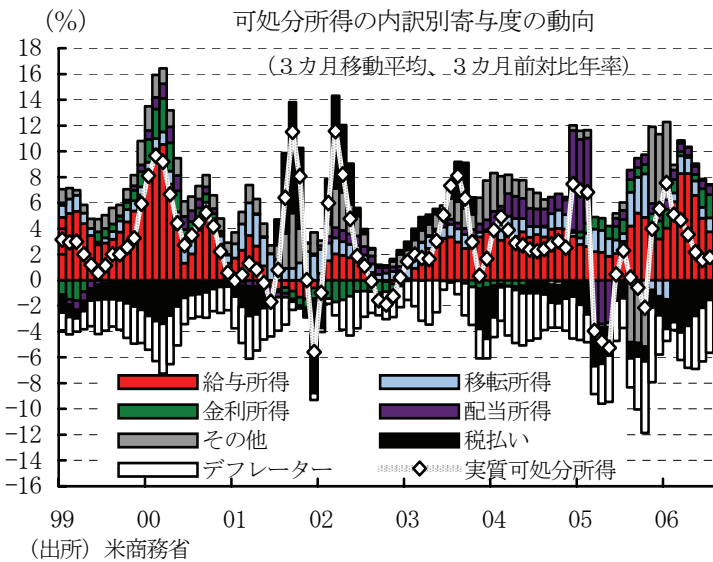
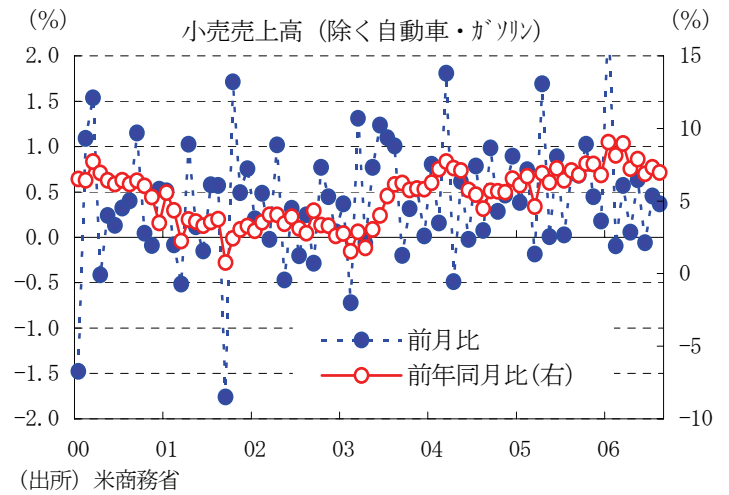
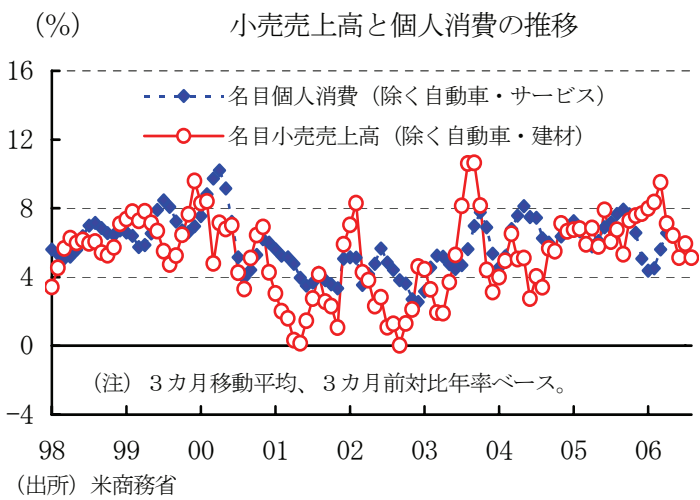
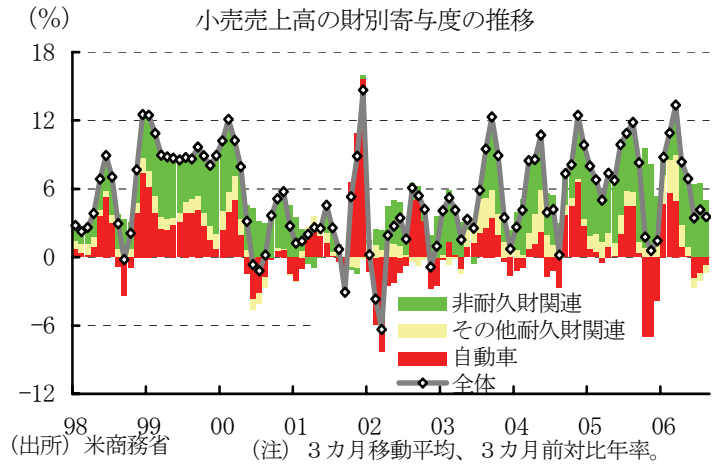
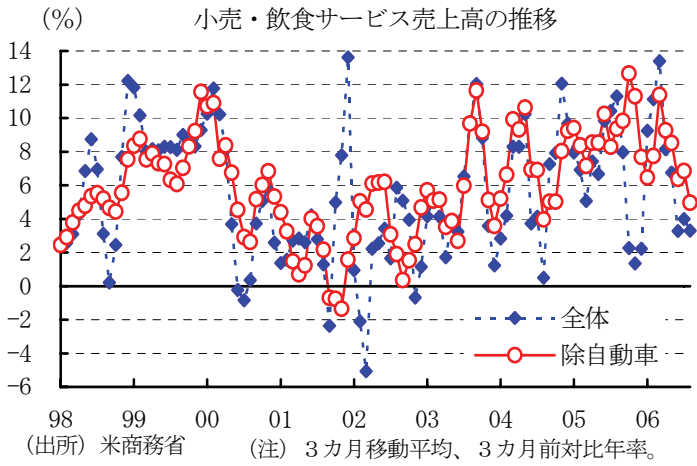
GDPベースの個人消費算出に使われる小売・飲食サービス売上高(除く自動車・ガソリン・建材)は、8月に前月比+0.4%(前月同+0.5%)と小幅減速した。4～6月期対比年率では+4.2%と4～6月期の同+5.1%から減速した一方、自動車販売台数は7、8月平均で季節調整済み年率1667万台と4～6月期の同1635万台から小幅増加している。

9月入り後の消費動向では、チェーンストア小売売上高は9月の第1週に前週▲0.3%と低下したものの、8月平均から増加している。

以上のことから、7～9月期の実質個人消費は前期比年率+3.3%程度のペースで拡大していると判断される(先行きの消費を取り巻く環境についてはWeekly Global Economy参照)。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。